Panasonic

設置ガイド

ホームネットワークカメラ 屋内設置タイプ

品番 **BL-C1 （有線タイプ）**
BL-C20 （無線／有線共有タイプ）

プライバシー・肖像権について

カメラの設置や利用につきましては、ご利用されるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう･姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

- **本書は、BL-C1（有線タイプ）／BL-C20（無線／有線共用タイプ）の2機種共用です。機種によって使える機能や操作が一部異なります。本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。（品番は、本体の前面左上に表示しています。）**

- ご使用いただく前に、「ご使用の前に／困ったときには」を必ずお読みください。
- 本書では、BL-C20のイラストと画面を使って説明しています。
- 本書では、「ホームネットワークカメラ」を「カメラ」と表記しています。
- 本書では、「セットアップCD-ROM」を「CD-ROM」と表記しています。

設置は、かんたんガイドに従ってカメラの接続・設定をしたあとに行ってください。

< 設置の手順 >

① 仮置きする

設置したい場所に仮置きしてください。

- **（BL-C20のみ）無線で接続し、おしらせランプ制御（☞ CD-ROM内の取扱説明書106ページ）を「点灯（常時）」（工場出荷値）に設定している場合、電源ONから5分間、おしらせランプは、設置場所の無線接続状態を次の4段階で表示します。**

おしらせランプ	点灯	3秒間隔の点滅	1秒間隔の点滅	消灯
電波状態	良好	普通	不良	未接続

▼

② カメラの位置・向きを調整する

実際にパソコン画面に表示された画像を確認しながら、カメラの適切な位置・向きを調整してください。

- 人感センサーの検知による画像データの一時保存もしくは転送をしたいときは、検知動作も確認してください。検知したときにインジケーターが点灯するように設定すると、調整をする際に便利です。（☞ CD-ROM内の取扱説明書105ページ）
- 人感センサーの詳細については、下記の「人感センサーについて」を参照してください。

▼

③ カメラを固定する

カメラは壁または天井に掛けて設置することができます。
取り付けの際は、確実に固定してください。（☞ 裏ページ）

- カメラが写すことができる最低被写体照度は4ルクスです。周りが暗くカメラ画像が見にくい場合は、補助照明を付けてください。
- 設置の際に必要とする長さのイーサネットケーブルを購入してから、設置してください。

人感センサーについて

人感センサー（焦電センサー）とは、人や動物などの温度をもつものから自然に放射されている赤外線による温度変化を検知するセンサーです。検知したときのカメラ画像を内部メモリーに一時保存したり、EメールもしくはFTP転送ができます（設定のしかた☞ CD-ROMの取扱説明書66ページ）。検知範囲は、環境温度や対象の移動スピードなどの条件によって、大きく変化しますので、設置場所には注意してください。

- 人感センサーの検知範囲を理解したあとに、カメラを設置してください。
- 人感センサーの検知による画像データの一時保存もしくは転送をしたいときは、検知動作も確認してください。検知したときにインジケーターが点灯するように設定すると、調整をする際に便利です。（☞ CD-ROM内の取扱説明書105ページ）
- 「設置場所について」を参照してカメラを設置してください。

人感センサーの詳細については、パナソニックのサポートウェブサイト（http://panasonic.co.jp/pcc/products/hnetwk/support/）を参照してください。

上から見た検知範囲

（検知範囲の温度が20 ℃のとき）

横から見た検知範囲

（検知範囲の温度が20 ℃のとき）

- 検知範囲の温度が35 ℃のとき、人感センサーの検知距離が約0.5 m～1.5 mになることがあります。
- 検知範囲の温度に依存せず、映像の動きを検知する「動作検知」機能も搭載しています。（☞ CD-ROM内の取扱説明書55ページ）ただし使用環境により画像更新速度（フレームレート）が低下することがあります。使用環境に合った機能をお使いください。

図1

図2

（上から見た図）

※斜線部分はセンサーには反応するが、カメラには写らない部分

レンズの水平画角（画像が映る範囲） 約53 °

センサー水平方向範囲
（センサー検知範囲）
約67 °

- 人感センサーの検知範囲については、横からの動きは温度変化を検知しやすく、正面からの動きは、検知しにくくなります。カメラの前を人が横切るような場所に設置してください。（図1参照）
- センサーの検知範囲が、カメラの映像範囲より大きいために、一時保存／転送したカメラ画像に人感センサーに反応した人などが映らないことがあります。（図2参照）

PQQX15048ZA KK1105JT0

設置場所について

- （BL-C20のみ）設置環境や障害物の有無によっては、電波の届く距離が短くなることがあります。カメラと無線ルーターの間に次のような障害物などがあると、電波が遮られ極端に弱くなります。このため、カメラと無線ルーターの間の距離が近くても、画像の更新が遅くなったり、画像が表示されなかったりすることがあります。
  - 金属性のドアや雨戸、シャッター
  - アルミはく入りの断熱材が入った壁
  - トタン製の壁
  - コンクリート、石、レンガなどの壁
  - 防火ガラス
  - 壁を何枚もへだてたところ
  - スチール棚

金属製のドア　鉄筋コンクリート

- 夏場のように周囲の環境温度と人体との温度差が少ない場合は、検知範囲内でも人感センサーが動作しないことがあります。
- カメラの近く（約1 m以内）では、検知範囲の外でも検知することがあります。
- 人感センサーの前に障害物があると、人感センサーが反応しません。障害物を取り除くか設置場所を変えてください。
- 人感センサーを正しく動作させるために、以下のような場所への設置は避けてください。温度変化の検知が正しく行われないことがあります。

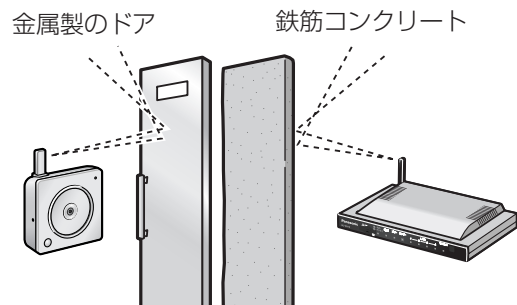
直射日光のあたる場所

台所など油汚れがついたり、蒸気がかかったりする場所

エアコンのそばなど温度変化の激しい場所

前方にガラスなどの障害物がある場所

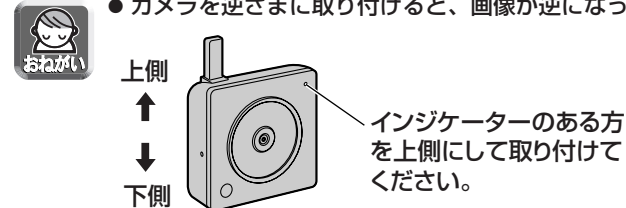
温度に影響するような強い発光物がある場所

強い電波を発信する製品のそば

- 人感センサーを使うことによって生じた事故などの結果について、当社は一切の責任を負いません。常に高い信頼性を求められる監視などの用途には、人感センサーを使わないことをおすすめします。人感センサーは、常に高い信頼性を求められる用途には適していません。

カメラを設置する

カメラは、次のような設置ができます。

おねがい

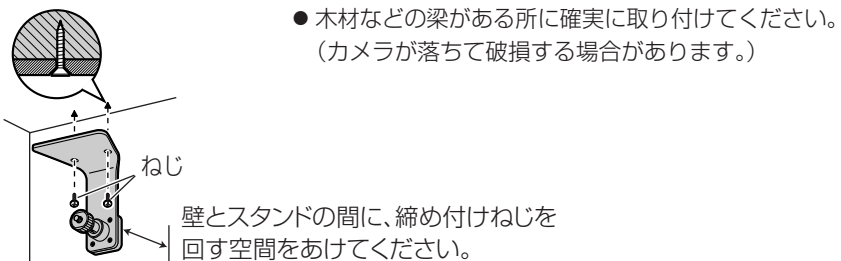
- **カメラを逆さまに取り付けると、画像が逆になってしまいます。**

- **ケーブル類は、カメラからはずしてください。取り付け後に接続してください。**
- **スタンドにぶらさがったり、カメラ以外のものを固定しないでください。**
- **ケーブル類は、負荷がかからないようにテープ（市販品）で固定してください。**
- **設置するときは必ずACアダプターのコードをフックに掛けてください。**
- **ACアダプターがコンセントに届く範囲で設置するか、延長コード(市販品）を利用して設置してください。**

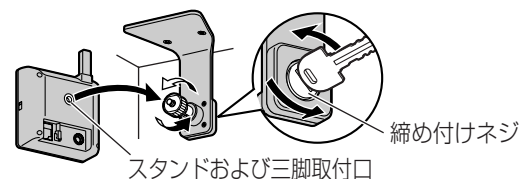
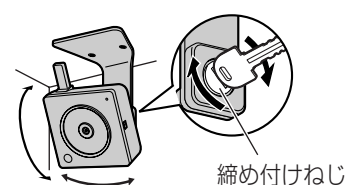
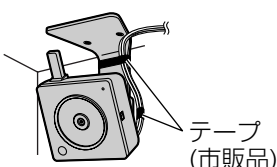
スタンドに取り付けて据え置きする

スタンドおよび三脚取付口
取り付けねじ
締め付けねじ
スタンド

1. スタンド背面の締め付けねじをゆるめる
2. 取り付けねじを回してカメラを取り付ける
3. 角度を調節し､スタンド背面の締め付けねじで確実に固定する

天井に取り付ける

1. 天井にねじ（付属品）でスタンドを取り付ける

- 木材などの梁がある所に確実に取り付けてください。（カメラが落ちて破損する場合があります。）

2. スタンド背面の締め付けねじをゆるめ、取り付けねじを回してカメラを取り付ける

3. 角度を調節し、締め付けねじで確実に固定する

4. ケーブル類を市販品のテープでスタンドに固定する

- 本製品は屋内設置用カメラです。屋外には取り付けないでください。
- 本体が温かくなりますが、異常ではありません。

三脚に取り付ける

- **ネジ部6 mm以上の三脚ネジは使用しないでください。（カメラの三脚取付口が破損する場合があります。）**
- **雲台の形状によっては取り付けられない場合があります。**

壁に取り付ける

1. 壁にねじ（付属品）でスタンドを取り付ける

- 木材などの梁がある所に確実に取り付けてください。（カメラが落ちて破損する場合があります。）

2. スタンド背面の締め付けねじをゆるめ、取り付けねじを回してカメラを取り付ける

3. 角度を調節し、締め付けねじで確実に固定する

4. ケーブル類を市販品のテープでスタンドに固定する

⚠ 注 意

■ 強度の弱い壁や天井には取り付けない

禁　止

［石膏ボード・ALC (軽量気泡コンクリート)・コンクリートブロック・厚さ2.5 cm以下のベニヤ板など。］

落下して、けがの原因になることがあります。

- 取り付けるときは、本体を十分に支えられ振動がなく強度のある壁や天井に確実に取り付けてください。